

銀河レポート401

No. 34
3月号

発行日：平成30年3月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

3月の星空

北斗七星

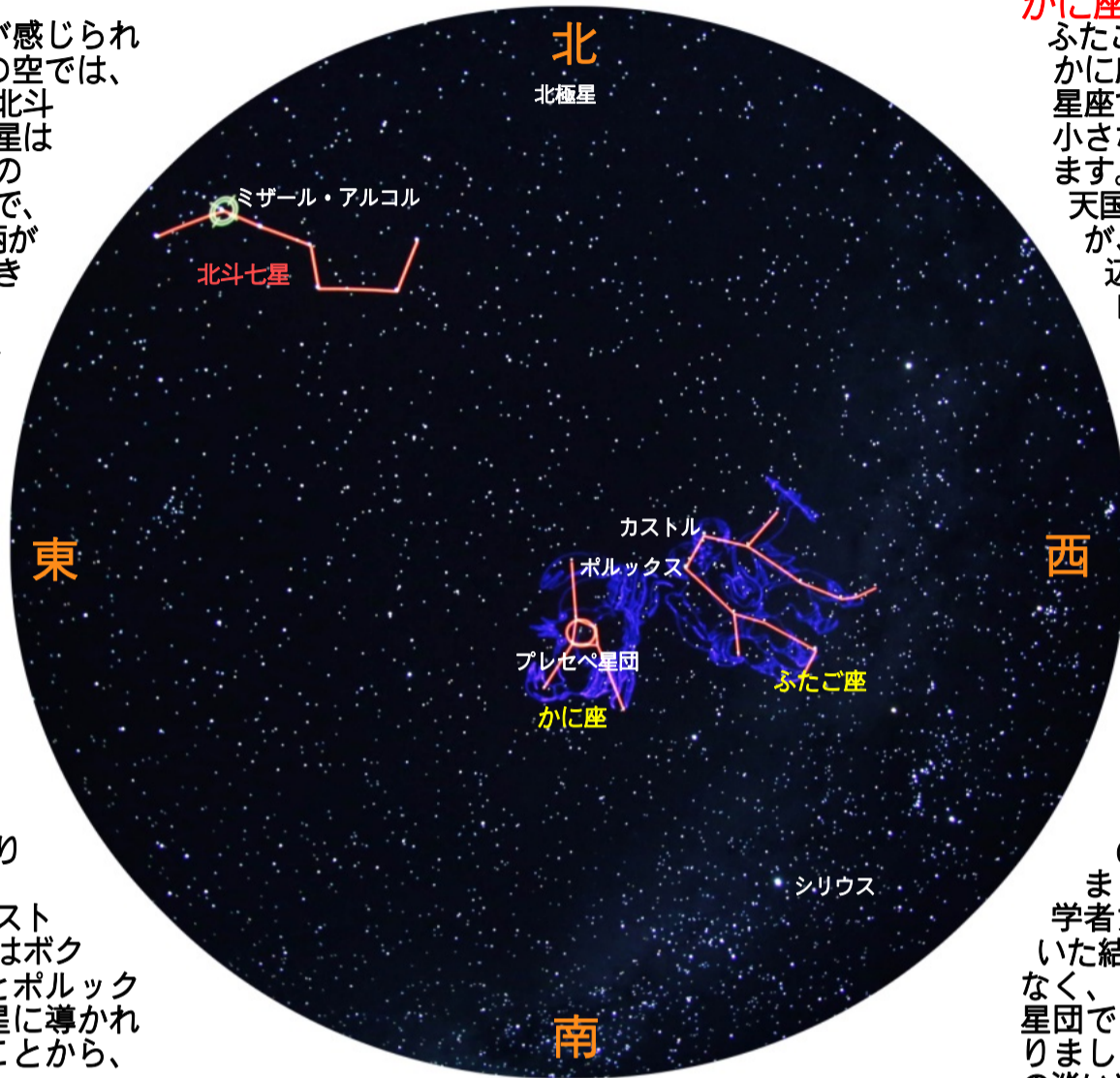
3月になり、少しずつ春の気配が感じられるようになってきましたね。北の空では、七つの星がひしゃくの形に並んだ北斗七星が昇ってきています。北斗七星は見上げる時刻や季節によって、その傾きが変化して見えるのが特徴的で、3月中旬の21時頃は、ひしゃくの柄が縦向きになった姿を見ることができます。

柄の方から数えて二つ目の星は、実は、ミザールとアルコルという二つの星が並んで見える二重星です。夜空の暗い場所であれば肉眼でも見分けることができます。二つの星が見えるかどうか、ぜひ夜空で確かめてみてください。

ふたご座

ふたご座は、2等星のカストルと1等星のポルクス、二つの明るい星が並んで輝く、見つけやすい星座です。日本では、ちょうどひな祭りの頃に空の高いところに昇ることから「ひなまつり星」とも呼ばれています。

ギリシャ神話によると、兄のカストルは乗馬の名手、弟のポルクスはボクシングの名手でした。カストルとポルクスは、アルゴ船での航海中に、星に導かれて嵐を切り抜けることができたことから、航海の守護神とされています。



GINGA PORT401内で撮影

かに座

ふたご座の隣に、同じく誕生日星座のかに座があります。あまり目立たない星座ですが、空の暗い場所では、星が小さな四辺形に並んでいるのがわかります。昔、占星術では、この四辺形を天国への出入り口と考えていましたが、面白いことに中国でも、この四辺形を「鬼宿」と呼び、靈魂の入口と考えていたようです。

かに座は、ギリシャ神話に登場するカルキノスという化けガニの姿です。怪力のヘルクレスにあっけなく踏みつぶされてしまったのですが、それを憐れに思った女神ヘラが、カルキノスを夜空に上げて、星座にしたということです。

プレセペ星団

かに座の四辺形の中に、プレセペ星団と呼ばれる星の集まりがあります。そのぼんやりとした淡い光は、昔から「小さな雲」「小さな霧」などと呼ばれ、星雲のような天体として考えられてきましたが、17世紀にイタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイが望遠鏡で覗いた結果、それは星雲ではなく、数十個の星が集まった星団であるということがわかりました。晴れた夜空で、その淡い光を探してみましょ。



夜明け前の空に並んで輝く惑星を見よう



最近の夜明け前の空には、木星、火星、土星と三つの惑星が一直線に並び、明るく目立っています。惑星の近くに月が並ぶこともありますので、明け方の空は一段とにぎやかです。

惑星は、星座の星々の中を動いていきます。特に火星は、3月下旬には、さそり座のアンタレスから離れ、土星の方に近づいていきますので、早起きをした時には、ぜひ、南の空で、火星の位置を確かめてみてください。

←平成30年3月10日 午前5時 南の空
(星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ)

3月のガリレオ教室

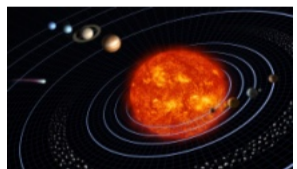
〈3Dで宇宙を見よう!〉

3Dメガネをかけて宇宙旅行をしませんか? 天文ボランティアが宇宙を楽しく案内します。

〈日時〉
3月11日(日)
①11時から11時20分
②14時から14時20分

〈場所〉
コズミックラウンジ

※ 当日の自由参加・無料



★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》

日時：3月24日(土)
時間：10時30分から12時
場所：市民公園
内容：太陽を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。

《天文ボランティア主催観望会》

日時：3月17日(土)
時間：18時30分から20時
場所：市民公園
内容：見ごろの星を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。
※きらら号は出動しません。

3月の月

2日		満月
9日		下弦
17日		新月
25日		上弦
31日		満月

編集後記

日差しの暖かな日も増えてきました。そろそろ寒い冬も終わりですね。

GINGA PORT 401では、3月17日から、プラネタリウムの春番組がスタートします。毎週土曜日の18時30分からの夜間特別番組「12星座物語」では、観覧された方の誕生日の星空を再現するコーナーもありますので、どうぞお楽しみに!